

PBL II -50 コミュニティアート2019／Project Based Learning II

担当教員／Instructor 森脇 裕之(美術学部情報デザイン学科メディア芸術コース), 開発 好明(美術学部情報デザイン学科メディア芸術コース)

対象学年／Eligible grade - 開講学期／Semester 2019年度／Academic Year 通年／One-Year

授業形態／Type of class

時間割コード／Registration Code PB50 単位数／Credits 2

備考／Remarks

オフィスアワー／Office hours

【サブタイトル／Subtitle】

相模原市を対象としたワークショップとアートプロジェクト

【授業のねらい／Course Objectives】

アートを基軸としたワークショップ活動などを、地域社会に暮らす市民と交流しながら、実行するプロジェクト型の授業を、本学の近隣である相模原市で展開する。前期は相模原市立桜台小学校と連携して、四年生の図工授業を実施する。小学校の実際の教育の現場で、教室に入って、ともに活動を行ない、こどもの創作に立ち会うことで伝達コミュニケーションのあり方を深く考えることは、教職を目指す学生はもちろん、美術のあるべき姿を考えるうえで有意義な体験となる。後期は相模原市との美術系四大学協定に基づき、相模原市が運営するアート施設「アートラボはしもと」と共催して、市民交流を目的としたイベント、ワークショップを企画する。アートラボはしもとを拠点とした活動を通じて、市民に開かれたアート活動の実際を学ぶ。参加者の実際の生の声をひろいあげ、まちづくりにとって大切なアートとは何かを具体的な事例のなかから学ぶ。このような実践的なアートによる社会参画活動を通じて、卒業後もアートによる社会活動を主導できるような能力を身につけることを目標に、これからの自身の創作活動に対してフィードバックする体験授業となる。

【到達目標／Course Goals】

1. 体験型ワークショップを通じて、こどもたちに創作の世界のすばらしさをメッセージとして伝える。
2. ワークショップの運営で役割分担をして、それぞれが自分の責任を果たすように努力する。
3. 教育の現場を体験し、こどもの教育でアートやデザインがどのような役割を果たすのか考える。
4. 地域と大学の連携によって得られる社会的な効果について考える。

【授業の展開計画／Class schedule】

前期プロジェクト【相模原市立桜台小学校 桜台美術館プロジェクト】

第1週 オリエンテーション

前期授業のプロジェクト説明。ワークショップ事例学習（ワークショップの定義目的。過去に実施されたワークショップの事例学習）

第2週 桜台小学校 現地下見

小学校の教室下見、担当教員との打ち合わせ。

第3週 企画ミーティング

全員でアイデアを出して、テーマを決める。

第4週 企画ミーティング

グループに分かれて、ミーティング。

第5週 企画ミーティング

企画のまとめ、プレゼンテーションの準備。

第6週 ワークショップ企画プレゼンテーション会議

小学校担任の先生も参加して、ワークショップ企画のアイデア検討。

第7週 企画ミーティング

アイデア総括まとめ。全体企画運営の役割分担を決める。材料選び、試作実験

第8週 ワークショップ準備

試作品の検討、展示制作物・ワークショップ用品の準備。

第9週 ワークショップ・リハーサル

授業を想定して、模擬ワークショップを行う。

第10週 ワークショップ準備

リハーサルのフィードバック、ワークショップの準備。展示制作物の準備。

第11週 小学校ワークショップ

小学校にてワークショップ授業の開催。

第12週 ワークショップ反省会

ワークショップ終了後の整理、振り返りミーティング。

公開日告知のためのポスター制作。

第13週 展示物制作、準備

校内美術館の展示案内物（コンセプトパネル）の準備、会場案内などの準備。

第14週 展示物制作、準備

校内美術館の展示案内物（コンセプトパネル）の準備、会場案内などの準備。

第15週 桜台美術館地域公開日

地域公開日での案内、プレゼンテーション、保護者への対応。当日作品撤去、かたづけ。

後期プロジェクト【アトラボはしもとワークショッププロジェクト】

第1週 オリエンテーション

第6週 ワークショップ企画プレゼンテーション

ワークショップ企画グループに分かれて、アイディアプレゼンテーションを行う。
全体企画運営の役割分担を決める。

第7週 さがみはら風っ子展サポート

相模原市小学校合同展のサポート活動。

第8週 さがみはら風っ子展サポート

相模原市小学校合同展のサポート活動。

第9週 イベント広報ミーティング

広報物の発注、ワークショップの準備。

第10週 ワークショップ準備物制作

展示制作物の準備、キャプション・会場案内などの準備。

第11週 ワークショップ・リハーサル

アートラボで本番会場を想定した、ワークショップリハーサルを行う。

第12週 現場設営作業

アートラボはしもとでの現場設営作業。

第13週 現場設営作業

アートラボはしもとでの現場設営作業。

第14週 展示会開始

企画展示のオープン、ワークショップイベントなどを行う。

第15週 イベント実施

作品撤去、かたづけ。後期の取り組みのまとめ

*本授業では、イベント会期中のワークショップや撤去作業までを含めてプロジェクトの完了とします。

*場合によっては授業時間外の活動予定を組まなければいけないこともあります。その場合は事前に話し合っ調整します。適宜スケジュール調整をして作業分担をしてください。

【履修上の注意事項／Notices】

プロジェクト学習のために、必要があれば定められた授業時間以外のところで参加することもあります。その場合はそれぞれのスケジュールをもとに話し合いをして役割分担しながら決定します。

【評価方法／Evaluation】

授業への出席、プロジェクトへの取り組みの姿勢、貢献度、参加実績などを総合的に評価する。

【テキスト／Textbooks】

特になし。

授業内で適宜資料を配付する予定。（相模原市の文化行政の取り組み資料など）

【参考文献／Bibliography】

「日常を変える！クリエイティブ・アクション」プラクティカ・ネットワーク編 フィルムアート社

【準備事項／Preparation】

特になし